

職場に飛び交う愛言葉

ご安全に!

大分労働基準監督署 安全衛生課

☎870-0016

大分市新川町2-1-36大分合同庁舎2階

☎ 097-535-1513

管轄区域

大分市・別府市・杵築市・由布市・国東市
速見郡日出町・東国東郡姫島村



職場から災害をなくしましょう



◇大分県産業安全衛生大会開催!

令和6年度大分県産業安全衛生大会は、令和6年7月3日（水）午後1時30分から、コンパルホールにおいて開催されました。

本大会では、令和6年度安全衛生表彰式が行われ、佐藤広道大分労働局長より、局長表彰が3事業場、1個人に対し行われ、（一社）大分県労働基準協会会長より、6事業場に対して行われました。

また大会では、嶋田高彰健康安全課長が「労働安全衛生行政の動向」と題し、労働災害の発生状況、熱中症の事例及び対策について、ユタカ労働安全コンサルタント事務所所長佐藤剛敏様から「リスクと正しい向かい合ってますか～人間特性と過去の災害に学ぶ～」と題し、人間の記憶力、慣れから起こる労働災害の発生のメカニズムについて説明されました。



【大分県産業安全衛生大会の様子】

令和6年 労働災害発生状況

大分署管内コロナ除く

6月末速報値	令和6年		昨年同期		増減	
	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
全業種	3	292	2	272	+1	+20
＜業種別内訳＞						
製造業	1	33	1	34		▼1
建設業		37	1	57	▼1	▼20
運輸交通業	2	26		38	+2	▼12
農林業		13		4		+9
他の産業		2		1		+1
第三次産業		181		137		+44
商業		49		41		+8
保健衛生業		50		32		+18
接客娯楽業		22		25		▼3
清掃・と畜業		26		20		+6

※ 上表の統計は、労働者死傷病報告により6/30現在と前年の労働災害の発生日数を比較集計したものです。
※ 他の産業とは、鉱業・貨物取扱・畜産水産の合計。

◇運送業で死亡災害2件発生

全国安全週間に当たり、令和6年に運輸交通業で死亡事故が2件発生したことに伴い、令和6年7月2日に「大分労働局長安全パトロール」を実施しました。

鶴崎海陸運輸株式会社物流事業本部を訪問し、安全衛生管理状況を確認しました。

パトロールでは、コンテナの積卸作業やコンテナの運搬等を確認しました。作業現場でストラドルキャリアーによる作業の危険防止措置や熱中症対策の確認などを行いました。



【パトロールの様子】

全国労働衛生週間説明会

別府会場	大分会場
9月12日（木）14時～ （定員300名）	9月13日（金）14時～ （定員500名）
別府市市民会館 大ホール 別府市上田の湯町6番37号	オンライン開催



第75回全国労働衛生週間は、9月1日から9月30日までを準備期間、10月1日から10月7日を本週間として、全国一斉に実施されます。

全国労働衛生週間に当たり、上記日程で説明会を開催します。説明会等受付サイトからの応募となりますので、よろしくお願ひします。

「ご安全に！」は、大分労働局HPに掲載されています

大分労働局 ご安全に

検索

社会福祉施設における 行動災害を防止



転倒及び腰痛等の動作の反動による災害(行動災害)防止対策の徹底を図るため、社会福祉施設を対象としたZOOMを使ったオンライン説明会を開催します。

日程 令和6年8月21日(水)

日時 13:30~15:00

申込 説明会等受付サイト
右図の二次元コード

締切 8月16日(金)



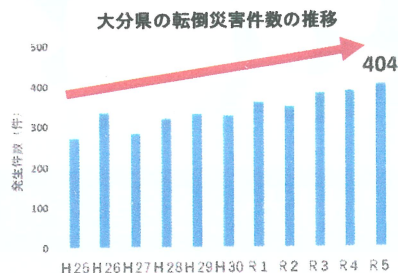
説明会等受付サイト

中高年齢の女性の転倒災害が増加

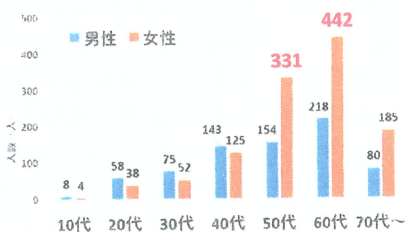
50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加しており、令和5年に大分県で404件の転倒災害が発生しました。

また、転倒災害の年齢男女別発生件数の割合は50代以上の女性が全体の約50%を占めています。

転倒災害防止対策の構築が急務となっていますので、転倒災害防止対策促進用リーフレットを参考に災害防止対策を講じてください。



大分県内転倒災害の年齢男女別発生件数(過去5年間)



全産業の事業者向け転倒防止リーフレット

検索

STOP! 熱中症



毎年7月は熱中症対策の重点取組期間となっています。令和5年は、大分県内で133(前年比+6人)人が職場における熱中症により治療を受けました。集計を開始した平成25年以降で最多人数の記録となりました。また、令和5年には建設業において熱中症による死亡事故が1件発生しました。

これから暑い日が続くため、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の下記事項に取り組んで、熱中症予防を実施しましょう。

重点取組期間 7月

- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行う。
- 梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底する。
- 水分、塩分を積極的にとらせる。
- 睡眠不足、体調不良、前日の飲み過ぎに注意する。
当日の朝食はきちんと取る。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行う。
- 異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送する。

日常生活から改善しよう!



Point

暑さに慣れる、暑熱順化

人間は熱に慣れることができ、これを暑熱順化といいます。暑熱順化により早く汗が出て、熱放散しやすい状態になり、体温の上昇を食い止めることができます。暑熱順化することにより、熱中症のリスクが低下します。

暑熱順化を行うためには、無理のない範囲で汗をかくことが大切です。個人差はありますが、右図のような運動や入浴などの暑熱順化トレーニングを数日から2週間程度行うことで、暑さに強い身体をつくることができます。

日常生活でも意識して暑熱順化トレーニングを行うようにしましょう。

なお、長期休暇など長期間暑さから離れると暑熱順化の効果はなくなることに注意が必要です。

暑熱順化トレーニング

歩く・走る (帰宅時に一駅分歩くのもOK) 歩く目安 30分 走る目安 15分 頻度目安 週5回	自転車 運動目安 30分 頻度目安 週3回
適度な運動 (筋トレやストレッチなど適度に汗をかくもの) 運動目安 30分 頻度目安 週5回~毎日	入浴・サウナ (お風呂はシャワーだけでなく、湯船につかる) 頻度目安 2日に1回

注意事項

こまめに水分補給
大量に発汗したら、塩分補給をする
適度な休憩をとる

